

「バドミントンを楽しもう！！」

令和３年２月２１日（日）、町田市の児童館・子どもセンターつるっこにて実施されたバドミントン教室に、指導者派遣を行いました。こちらの子どもセンターでは、０歳から１８歳までの子どもが自由に過ごすことができる居場所として、体を動かして遊べる環境も充実し、特にバドミントンがどの年代においても人気の高い種目になっています。今回は、その人気種目であるバドミントンを通して、体を動かしたりスポーツをする楽しさを感じてもらうとともに、参加者同士や指導者との交流から、社会性を培うことを目的として教室が実施されました。参加者は、男女約半数ずつの２０名で、ラケットを初めて握る子から、学校のクラブ等で日常的に行なっている子まで、幅広い層の子どもたちが集まりました。

派遣した２名の指導者は、東京都バドミントン協会に所属し、ご自身もシニアの大会に出場する現役の選手でありながら、コーチやジュニアスポーツ指導員の公認スポーツ指導者資格を所有しているベテランの先生です。以下、教室の様子をご紹介します。

教室の冒頭では、指導者から打ち合いやスマッシュなどの実演が披露され、子どもたちは開始早々、その迫力あるパフォーマンスに釘付けになっていました。それから具体的な実技指導が始まり、前半では、ラケットを使ってシャトルを拾い上げる簡単な練習や、打ち方のレクチャー、ラケットにシャトルを当てる基本的な動作の練習を中心に行われました。最初はみんな動きも表情も硬いように見えていましたが、徐々に緊張もほぐれ、指導者の熱意に応えるように真剣な眼差しで取り組んでいました。前半が終了したところで５分間の休憩時間が設けられましたが、子どもたちは５分を待たずにすぐさま指導者の周りに集まり始め、心からバドミントンを楽しんでいる様子でした。

後半では、実際のゲームに近い動きをイメージした打ち込み練習や、グループ毎に分かれて一人ずつ交代でシャトルを打って連続回数を競うなど、経験歴に関わらず誰もが楽しみながら上達できるような内容でした。技術レベルの高い子に対しては、適宜個別でフォームの指導をしたりと、それぞれの技術レベルに応じたアドバイスも細やかに行われていました。最初はラケットにシャトルがまったく当たらなかった子が、後半には少しずつ当たるようになるなど、少しの指導を受けるだけで目に見えて上達する子どもたちの姿に、指導者もご父兄の皆さんも喜んでいました。また指導者は、真剣な指導の中にも、時には冗談を交えながら子どもたちの心を掴み、後半に差し掛かった頃には子どもたちの方から笑顔で近づいていく様子もうかがえました。

最後は、施設の職員の方や見学に来ていたご父兄の皆さんにも、シャトルを投げるなどの補助に入ってもらい、皆で掛け声をかけ合うことで大いに盛り上がりました。実技の指導以外にも、夢を持つことの大切さや、スポーツで仲間とつながることの素晴らしさなどについてもお話いただき、子どもたちにとっても大変貴重な時間になったのではないかと思います。

今回の教室をきっかけに、子どもたちがバドミントンの楽しさや、スポーツを通して仲間と交流することの素晴らしさを知り、これからも積極的にスポーツに親しんでくれたら嬉しく思います。そして、このような貴重な体験ができる環境や機会を最大限に活用していただき、様々なスポーツ活動を通して、子どもたちの体力・健康の増進や地域コミュニティの活性化に役立てていただけるよう、本事業をより充実したものにしていきたいと思っています。